

2022年10月13日

新規受託項目のお知らせ ＜研究検査＞

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

コードNo.	検査項目名
13764 (従来システム 6237)	ガストリン

ガストリンは、胃幽門部、十二指腸粘膜に存在する G 細胞によって分泌される消化管ホルモンであり、胃酸分泌促進、ペプシノゲン分泌促進、胃壁細胞増殖、インスリン分泌促進等の多くの生理作用を有しています。

ガストリンは、ガストリノーマ、Zollinger-Ellison 症候群で異常高値を示すことから、これらの疾患の診断に重要な検査とされています。

この度、研究用試薬を用いたガストリン検査の受託を開始いたします。

【開始時期】 2022年10月17日（月）ご依頼分より

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。

【受託要領】

コード No.	13764 (従来システム 6237)
検査項目名	ガストリン
検体量	血清 0.5mL
採取容器	B (汎用容器(分離剤入り)) → 1 (血清・血漿分離容器)
保存方法	凍結
検査方法	RIA・PEG法
基準範囲	未設定
単位	pmol/L
所要日数	4～10日
報告範囲	12未満～4000
報告桁数	整数
検査実施料/判断料	未収載

《参考資料》

■ 主な交差反応性

対象物質	交差反応 (%)
ガストリン-17	100
ガストリン-17, 硫酸化体	83
ビッグガストリン(ガストリン-34)	61
CCK-8	36
ガストリン1-14	<0.1

(試薬添付文書掲載)

以上